

東京防災隣組

第四回認定団体活動事例集



INDEX 【目次】

部門Ⅰ 地域住民間の連携

百人町三丁目町会（新宿区）	P6	ミディオンクラブ（葛飾区）	P12
根津弥生七ヶ町連合会（文京区）	P6	なぎさ防災会（江戸川区）	P13
東陽五丁目東町会（江東区）	P7	一中地域防災会（武蔵野市）	P13
二葉三丁目町会（品川区）	P7	大柳町自治会（青梅市）	P14
安方南町会（大田区）	P8	片町3丁目東会（府中市）	P14
高円寺北二丁目町会防災会（杉並区）	P8	成瀬中央自治会（町田市）	P15
上り屋敷町会（豊島区）	P9	緑四防災会（小金井市）	P15
大山東町会（板橋区）	P9	万願荘自治会自主防災会（日野市）	P16
サンシティ管理組合（板橋区）	P10	大和田自治会自主防災会（日野市）	P16
桜台一丁目町会（練馬区）	P10	滝山住宅管理組合自主防災組織（東久留米市）	P17
公園南住宅防災隊（練馬区）	P11	保谷マンション防災市民組織（西東京市）	P17
光が丘都営第三アパート自治会（練馬区）	P11	日の出団地自治会（日の出町）	P18
堀切地区まちづくり懇談会（葛飾区）	P12		

部門Ⅱ 地域住民と地域コミュニティ・事業者等との連携

九段こども火の用心実行委員会（千代田区）	P20	諏訪台中学校避難所運営委員会（荒川区）	P23
ワーク・わく・クラブ応援団（千代田区）	P20	青井三丁目町会（足立区）	P24
久松町町会、富沢町町会、東京織物卸商業組合（中央区）	P21	片倉台自治会自主防災隊（八王子市）	P24
和田一丁目町会（杉並区）	P21	昭島市自治会連合会第15ブロック地域合同防災会議（昭島市）	P25
泉南中学校震災救援所運営連絡会（杉並区）	P22	北落合地区災害対策連絡協議会（多摩市）	P25
志茂町会自治会連合会（北区）	P22	五日市地区防災・安心地域委員会（あきる野市）	P26
第二峡田小学校避難所運営委員会（荒川区）	P23		

部門Ⅲ 企業間の連携

立川南口商店街振興組合（立川市）	P28
------------------	-----

はじめに

首都直下地震をはじめとする様々な自然災害に備え、東京を世界一安全・安心な都市にするためには、行政による「公助」のみならず、地域住民による「自助」「共助」の果たす役割がとりわけ重要です。

こうしたことから、都は、大都市東京における共助の仕組みとして、地域において意欲的な防災活動を行う団体を「東京防災隣組」として認定し、その取組を広く社会に発信し、地域の防災活動の活性化を図っています。

今般、39の団体を第四回東京防災隣組として認定いたしました。第一回、第二回、第三回と合わせて合計182の団体が東京防災隣組になりました。

本事例集は、第四回認定団体の取組をまとめたもので、高層マンションにおける在宅避難を前提とした防災活動や、木造住宅密集地域での初期消火・負傷者搬送訓練など、地域特性に応じた様々な活動を紹介しています。

本事例集により、都内各地で防災活動を行っている皆様の今後の取組の一助となれば幸いです。

平成27年4月

東京都総務局総合防災部

部門Ⅰ 地域住民間の連携

区市町村名	団体名	取組内容
新宿区	百人町三丁目町会	木造住宅地での発災対応型訓練の取組
文京区	根津弥生七ヶ町連合会	町会連合会で連携した地域防災力向上への取組
江東区	東陽五丁目東町会	地域の自助・共助体制を強化し、避難行動要支援者対応を含めた地域防災力向上を目指す取組
品川区	二葉三丁目町会	木造住宅密集地域での「災害時要援護者」に対する支援及び安否確認体制の構築
大田区	安方南町会	災害時 避難の手助けをする運動
杉並区	高円寺北二丁目町会防災会	木密地域での初期消火、救出、救助等基礎訓練
豊島区	上り屋敷町会	路地単位の防災活動と、活動を通じた住民の連携意識活性化への取組
板橋区	大山東町会	「目指せ、世話焼き日本一！一人ぼっちにやさせないぞ」町会独自の見守り活動
板橋区	サンシティ管理組合	住民、学校、行政が一体となって防災対策を推進
練馬区	桜台一丁目町会	桜台一丁目町会 救急隊～発災時の初動活動～
練馬区	公園南住宅防災隊	住民に配慮したきめ細かな安否確認の仕組み作り
練馬区	光が丘都営第三アパート自治会	「向こう三軒両隣」住民がお互いに助け合う活動
葛飾区	堀切地区まちづくり懇談会	堀切地区8町会合同の防災会議や防災訓練
葛飾区	ミディオンクラブ	大規模集合住宅における実践的な総合防災訓練
江戸川区	なぎさ防災会	進化を続ける地域防災活動
武蔵野市	一中地域防災会	「自主防災町会」づくりの推進

区市町村名	団体名	取組内容
青梅市	大柳町自治会	防災・防犯・災害に対し、隣近所の繋がりが強いまちづくりへの取組
府中市	片町3丁目東会	小さな町会でも出来る防災対策
町田市	成瀬中央自治会	先進的な取組による安全・安心なまちづくり
小金井市	緑四防災会	地域の絆と行動で守る！私たちの町！ ～住民の絆と防災意識高揚への取組～
日野市	万願荘自治会自主防災会	女性防災リーダーを中心とした積極的な自主防災活動の推進
日野市	大和田自治会自主防災会	自主防災組織運営知識の伝承を重視した防災活動への取組
東久留米市	滝山住宅管理組合自主防災組織	32棟の集合住宅による地域防災力向上を目指した積極的な取組
西東京市	保谷マンション防災市民組織	高齢者世帯の多いマンション内で行う防災訓練・要支援者対策
日の出町	日の出団地自治会	日の出団地3自治会連携による「非常時における防災力強化」の取組

百人町三丁目町会（新宿区）

木造住宅地での発災対応型訓練の取組

【取組概要】

- 昭和53年に防災区民組織を編成し、活動を継続
- 発災時には、早期に町会防災本部を立ち上げ、地域住民が組織的に被害を最小限に食い止めることが必要と考え、発災対応型防災訓練を実施
- まちあるきを通して、「防災点検マップ」を平成9年に作成。平成24年にも再度作成し、全世帯に配布
- 近隣3自治会・学校関係者等と合同で住民参加型の避難所運営訓練を実施



仮設トイレ設置



訓練時受付の様子



小型ポンプ訓練

根津弥生七ヶ町連合会（文京区）

町会連合会で連携した地域防災力向上への取組

【取組概要】

- 発災時には、町会連合会住民が一体となった自助・共助が必要と考え、平成23年度からより実践的な合同訓練を実施
- 区や学校関係者等と連携した避難所運営訓練や、事前に訓練想定を知らせないブラインド型訓練、スタンドパイプ取扱訓練などを実施
- 全町会と区域内の有料老人ホームとの間で、火災発生時における一時避難場所の提供、災害発生時における入所者の避難誘導等についての災害応援協定を締結



スタンドパイプ取扱競技会



バケツ・レジ袋リレー



傷病者搬送訓練

東陽五丁目東町会（江東区）

地域の自助・共助体制を強化し、
避難行動要支援者対応を含めた地域防災力向上を目指す取組

【取組概要】

- 「自分たちのまちは自分たちで守る」という強い意識で、昭和49年から災害協力隊として活動
- 町会会員の約50%が70歳以上のため、高齢者参加型の防災訓練や、避難行動要支援者の避難誘導訓練を実施
- 「防災マップ」を作成し、全町会会員へ配布。マップは5年ごとに更新
- 町会内の避難行動要支援者の状況把握のため、消防署と連携した防火防災診断を実施



二葉三丁目町会（品川区）

木造住宅密集地域での「災害時要援護者」に
対する支援及び安否確認体制の構築

【取組概要】

- 地域内の災害時要援護者を毎月1回、個別訪問し、要援護者と支援者のつながりを形成
- 要援護者ごとに情報を掲載した「安心助け合いカード」を作成。1名の要援護者に対し3名の安否確認担当者を選定
- 火災発生箇所を事前周知しない「抜き打ち型」の初期消火訓練を実施
- 「防災標語のコンテスト」を小学校と共同開催し、独自の手段で若い世代へのアプローチを図る



安方南町会（大田区）

災害時 避難の手助けをする運動

【取組概要】

- 「災害時 避難の手助けをする運動」と称して、災害時に支援が必要な住民の名簿を作成。平時から支援者が声掛けを行う
- 春と秋の火災予防運動期間中に、消防署の協力を得ながら防火防災診断を実施。毎回重点項目を定め、実用的で細やかな診断を実施
- 地元商店街や消防団、消防少年団と連携し、幅広い世代で合同夜警等を実施
- 町会ホームページを作成し、防火防災マップ等を広報



担架搬送訓練



初期消火訓練



幅広い世代で合同夜警

高円寺北二丁目町会防災会（杉並区）

木密地域での初期消火、救出、救助等基礎訓練

【取組概要】

- 発災時に多数発生する火災、救助、救急等に対応するため、35年前から活動を継続
- 月に1回、C級ポンプ、D級ポンプ、チェーンソー、発電機、スタンドパイプ等の操作訓練を実施
- 10年前から、年に1回、発災対応型防災訓練を実施
- 子供たちへの防災意識高揚のため、児童館で、親子でバケツリレーや消火器操作体験、防災クイズなどを実施



女性参画



子供防災教育



消火体験

上り屋敷町会（豊島区）

路地単位の防災活動と、 活動を通じた住民の連携意識活性化への取組

【取組概要】

- 発災時の火災、救助などに対応するため、4年前から活動を継続
- 年2回、町会内公園で消火、救助訓練、炊き出し訓練を実施
- スタンドパイプを現在3ヶ所に設置。設置場所周辺の会員住民が錠を管理し、主体的に放水・消火訓練を実施
- D級ポンプや照明用エンジンなどの機器は毎月1回試運転を実施
- イベント毎に「防災通信」を発行し、活動の周知徹底を図る



ふれあい区民防災コンクール



スタンドパイプ取付け



炊き出し訓練

大山東町会（板橋区）

「目指せ、世話焼き日本一！一人ぼっちにやさせないぞ」 町会独自の見守り活動

【取組概要】

- 平成20年度から地域の見守り活動について検討を重ね、関係機関と連携して「大山東町会支え事業部」を発足
- 町会員等で2～3名のグループを編成。一人暮らし高齢者世帯や障害者世帯などへの見守り活動として月5回を目安に訪問
- 町会員との交流お茶会を定期的に行い、生活上の不安や防災対策などを気軽に話し合い、絆を深める
- 地域の中学生による車椅子乗車体験や仮設トイレの組立て訓練等を実施



車椅子搬送訓練



仮設トイレの組立て



炊き出し訓練

サンシティ管理組合（板橋区）

住民、学校、行政が一体となって防災対策を推進

【取組概要】

- 東日本大震災を契機に、多棟型大規模マンションの自主防災会を結成。棟単位や14棟全体の防災訓練やAED講習等を実施
- 「無事です」ステッカーを全戸配布し、訓練でも使用。災害時要援護者名簿を作成し、棟役員が保管
- 東日本大震災の被災者や防災専門講師による防災講習を実施
- 防災会会長が避難所長を務め、行政や近隣町会、学校と連携して避難所開設訓練を実施



仮設トイレ組立訓練



避難所訓練全員集合



防災講演会

桜台一丁目町会（練馬区）

桜台一丁目町会 救急隊～発災時の初動活動～

【取組概要】

- 発災時に緊急車両が到着するまで、初期消火や救助などの救急措置を行う「救急隊」を結成
- 消火器や軽可搬ポンプ、スタンドパイプ等による初期消火訓練を長年継続的に実施
- 訓練用人体モデル、AEDテスト機を活用した訓練を定期的に行い、救急救命技術を習得
- 「近隣地域合同防災訓練」に参加し、学校や近隣地域との連携を図る



スタンドパイプによる放水



救急救命訓練（胸部圧迫）



D級可搬ポンプ操作訓練

公園南住宅防災隊（練馬区）

住民に配慮したきめ細かな安否確認の仕組み作り

【取組概要】

- 毎年全戸にアンケートを実施して災害時の安否確認希望者を募り、独自の名簿を作成
- 安否確認方法を、A：ガラスを割ってでも確認、B：ガラスは割らず窓から確認、C：玄関ドアを叩く、から選択。発災時には、安否情報を全フロア配置図等へ書き込んで被災状況を把握
- 消火器による初期消火訓練や、屋内消火栓の取扱訓練、区貸与の階段避難車の操作訓練を実施



マンション設備確認の様子



初期消火訓練



発電機操作訓練

光が丘都営第三アパート自治会（練馬区）

「向こう三軒両隣」住民がお互いに助け合う活動

【取組概要】

- 障害者や高齢者の一人暮らしを対象に、「見守り隊」による見守りを実施。各人の要望に応じた見守り方法で対応
- 災害時には、各フロア担当者が全戸の安否を確認。定期的に安否確認訓練を実施
- ライフライン停止を想定した夜間防災訓練を実施し、照明の設置やサバイバル飯の調理・試食などを体験
- 消防署や自治会役員等と協力し、防火診断を約120件実施



布担架搬送訓練



避難用隔壁壊し訓練



階段避難車訓練

堀切地区まちづくり懇談会（葛飾区）

堀切地区8町会合同の防災会議や防災訓練

【取組概要】

- まちづくりを地域が主体となって検討するため昭和58年に発足。地区内8自治町会の防災担当を中心に防災部会を構成
- 初期消火・応急救護などの防災訓練を各地区で実施するほか、「堀切防災リーダー講習会」を年に1回実施
- 平成26年度に堀切防災マップを作成し、堀切地区の全世帯に配布
- 防災通信を年3回発行し、防災訓練の内容や災害時の連絡体制等を周知



簡易トイレの作成



安否情報の確認



スタンドパイプ訓練

ミディオンクラブ（葛飾区）

大規模集合住宅における実践的な総合防災訓練

【取組概要】

- 幅広い年齢層が居住する集合住宅として、地区内残留を考慮した防災訓練や防災講習会を実施
- 東日本大震災後に防災対策の検証・見直しを行い、防災活動の方向性を定める「ミディオン防災対策基本指針」を作成
- 住民をコントローラーとプレイヤーに分け、状況付与に基づき災害対策本部を運営するなど、実践的な内容で防災訓練を実施
- 応急手当講習会や役員向けの防災対策研修、防災施設見学等を実施



広報・情報発信



救出・救護訓練



掲示板（建物被害）

なぎさ防災会（江戸川区）

進化を続ける地域防災活動

【取組概要】

- 阪神・淡路大震災を契機として平成8年に発足。東日本大震災以降、「避難」から「籠城」へ方針変更
- 毎年9月に一般住民向け総合防災訓練を実施するほか、冬期訓練、春期訓練、夏期訓練を実施。夏期訓練では「子ども防災教室」も開催
- 「無事です！」シートを活用した安否確認システムを構築。フロア幹事による災害時の安否確認や、災害対策本部と号棟連絡所の立ち上げ訓練等を実施
- オリジナルの布担架を開発。各棟2基配備し、取扱訓練も実施



HUG訓練



総合防災訓練



「避難」から「籠城」へ

一中地域防災会（武蔵野市）

「自主防災町会」づくりの推進

【取組概要】

- 平成25年に避難所運営組織として立ち上げ。年に2回避難所訓練を実施
- 町会がない地域で、防災会会員が自ら出向いて防災への備えを説明するなど、各地域の自主防災町会（自主防災組織）の結成を支援
- 中学生の宿泊防災訓練に防災会メンバーが参加するなど、地域と連携した防災活動を実施
- 年に2回、広報紙を作成。地域内全戸に5,000部を個別配布し、住民への普及啓発を実施



トイレ設営



救護訓練



避難スペース確保

大柳町自治会（青梅市）

防災・防犯・災害に対し、 隣近所の繋がりが強いまちづくりへの取組

【取組概要】

- 年1回、救急救命講習を開催。自治会で受講費を負担し、自治会員の3割以上が受講。技術維持のため、役員は応急救護訓練を年1回実施
- 平成24年に、避難場所や消火器設置場所等を示した防災マップを作成。全世帯に配布したほか、町内に掲示
- 地元病院との災害時の応援協定や、地元燃料会社との防災協定を締結
- 年1回、青梅地区防災対策委員会主催の防災訓練に参加。自治会単独でも年1回防災訓練を実施



自治会役員、組長による災害対策協議



応援協定に基づく合同防災訓練



救命救急技能講習

片町3丁目東会（府中市）

小さな町会でも出来る防災対策

【取組概要】

- 春・秋の町内一斉清掃と併せて年2回の防災訓練を実施
- 資源回収の収益金を充当し、スタンドパイプなど防災資機材を購入。まちかど初期消火訓練を実施
- 発災時に、共働き家庭の子供や高齢者を自治会で保護し家族に連絡を行うため、緊急連絡網を作成
- 市自治会連合会で会の取組を発表するなど、地域外への普及も行う



簡易トイレ設置



スタンドパイプ取付け



放水訓練

成瀬中央自治会（町田市）

先進的な取組による安全・安心なまちづくり

【取組概要】

- 近隣4町会と共同で防災倉庫を購入・管理。備蓄した資機材等で合同防災訓練を毎年実施
- 訓練では、防災をテーマにした寸劇やスタンプラリー、キッズバッジ配布などで、子供や親世代の参加を促す
- トランシーバーを配備し、通信範囲調査や毎月の通話訓練を実施。防災訓練では、通信調査の結果や想定被害状況をマップに反映し、初動対応を行う
- ペット同行避難訓練を実施し、飼い主のマナー・意識の向上を図る



緑四防災会（小金井市）

地域の絆と行動で守る！私たちの町！ ～住民の絆と防災意識高揚への取組～

【取組概要】

- 市貸与の可搬ポンプや独自に購入したスタンドパイプの操作訓練を実施
- 平成26年度は、都立高校の生徒と一緒に炊き出し・備蓄倉庫の確認・スタンドパイプ操作訓練等を実施
- 在宅避難の際は、在宅無事プレートを掲示。在宅でも不足の物資や情報が届くよう、ルート確保・確認の訓練を継続
- 障害者福祉センターと提携し、年2回の防災訓練に参加。災害時の救援協力関係を構築



万願荘自治会自主防災会（日野市）

女性防災リーダーを中心とした 積極的な自主防災活動の推進

【取組概要】

- 平成22年に立ち上げ、女性防災リーダーを中心に活動。独自に防災マニュアルを作成し、自治会員へ全戸配布
- 定期的に高齢者を戸別訪問し、救急安心カードの配布や状況確認を実施
- 風水害被害の発生も懸念される地域のため、避難訓練を震災・水害に分けて実施
- 自主防災組織の班ごとに役割別訓練を実施するほか、ミニ勉強会や女子部・男子部・合同での会議など、年間を通じて活動



ミニ勉強会



夜間見回り



テント張り訓練

大和田自治会自主防災会（日野市）

自主防災組織運営知識の伝承を重視した 防災活動への取組

【取組概要】

- 平成17年に自主防災組織を結成し、継続的に防災活動を実施
- 防災訓練や研修会等を毎年開催。段ボールを使った応急救護や削岩機の取扱いなど、様々な内容を取り入れ、災害時の各種対応を幅広く習得。首都直下地震に関する防災講話等も実施
- 前年度の班長が会に残り、新たな班長をサポートするほか、役員等経験者で「愛好会」を作り、後進を指導



消火器訓練



地震体験車



応急救護体験

滝山住宅管理組合自主防災組織（東久留米市）

32棟の集合住宅による 地域防災力向上を目指した積極的な取組

【取組概要】

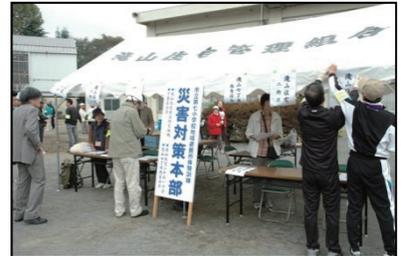
- 1,400世帯が居住する住宅管理組合が、平成11年に自主防災組織を設立
- 夕方から夜間に実施する夜間照明防災訓練や、避難所体験訓練、防災ウォーキング大会、減災セミナーなど年間を通じて活動を展開
- 独自のアンケート調査により、災害時要援護者リストを作成。8班の支援体制を編成し、定期的な訪問により状況確認等を実施
- 全戸に消火具と火災警報器を配布。AEDを活用した心肺蘇生訓練や、高層階居住者搬出を目的としたレスキューマットによる搬出訓練を実施



放水訓練



レスキューマット搬出訓練



災害対策本部の設置

保谷マンション防災市民組織（西東京市）

高齢者世帯の多いマンション内で行う 防災訓練・要支援者対策

【取組概要】

- 昭和54年から防災訓練を継続。初期消火や炊き出し、AEDを使用した応急救護等を実施
- 階段を利用した要支援者の避難訓練や、救出用資機材の整備等を実施
- 独自に作成している名簿で要支援者を把握。発災時には各フロアを管轄する班長が各世帯の安否確認を行う体制を構築
- 住民同士の交流を活性化するため、年2回「顔合わせ会」を開催。皆で避難経路を確認後、お花見で親睦



初期消火訓練



炊き出し訓練



救助用具

日の出団地自治会（日の出町）

日の出団地3自治会連携による 「非常時における防災力強化」の取組

【取組概要】

- 毎年9月に、3自治会合同の防災訓練を実施。昭和52年から継続
- 平成26年度は、各世帯に配布した「黄色いタオル」を掲示する訓練を行うなど、効率良く安価でできる安否確認方法を確立
- 第24自治会では、同地域内にある「多目的施設」を一時集合場所として新たに設定。高齢者等に配慮した現実的な避難体制を確保
- 春・秋の清掃活動や納涼祭などを合同で実施し、一体感を醸成



黄色いタオルを使用した安否確認訓練



救助訓練



スタンドパイプを使用した初期消火訓練

部門Ⅱ 地域住民と地域コミュニティー・事業者等との連携

区市町村名	団体名	取組内容
千代田区	九段こども火の用心実行委員会	「火の用心！」江戸の心意気を伝え続ける防災活動
千代田区	ワーク・わく・クラブ応援団	地域の防災を学んで活かそう「麹町地域ぼうさい探検隊」
中央区	久松町町会、富沢町町会、東京織物卸商業組合	町会、企業などが連携して行う防災活動
杉並区	和田一丁目町会	民間救援避難所の設置と要支援者対策の更なる充実に向けた取組
杉並区	泉南中学校震災救援所運営連絡会	次世代を担う中高生の育成を目的とする発災対応型防災訓練の取組
北区	志茂町会自治会連合会	木造住宅密集地域での発災対応及び学校等と連携した防災教育活動
荒川区	第二峡田小学校避難所運営委員会	木造住宅密集地域における大震災時の安否確認や避難所運営の迅速・円滑な取組
荒川区	諏訪台中学校避難所運営委員会	大震災時における安否確認や避難所運営の迅速・円滑な取組
足立区	青井三丁目町会	次世代の地域の担い手に～10年以上続く命をつなぐ救命講習～
八王子市	片倉台自治会自主防災隊	9か所の活動拠点を活用した初動対応及び多様な団体と連携した防災訓練
昭島市	昭島市自治会連合会第15ブロック地域合同防災会議	地域内の多様な団体と連携した地域防災力強化の取組
多摩市	北落合地区災害対策連絡協議会	地域コミュニティの力を土台にした地域全体の防災力強化
あきる野市	五日市地区防災・安心地域委員会	多様な団体との協働による地域防災力強化に向けた取組

九段こども火の用心実行委員会（千代田区）

「火の用心！」江戸の心意気を伝え続ける防災活動

【取組概要】

- 地域の防火・防災意識や自助・共助の精神を幼少の頃から啓発するため、地域内4町会の青年部が組織する実行委員会により活動
- 地区内5コースに分かれ、子供と夜警パトロールを行う「こども火の用心パトロール」を昭和61年から実施。その際、消火器・防火水槽等や災害発生危険箇所を確認
- 同日には、学校・消防署・消防団・区などの協力を得て、煙体験や初期消火等の防災訓練を実施するほか、避難所内の備蓄倉庫や備蓄物資を確認



起震車体験



こども火の用心パトロール



消火訓練

ワーク・わく・クラブ応援団（千代田区）

地域の防災を学んで活かそう 「麹町地域ぼうさい探検隊」

【取組概要】

- 小学校卒業生保護者の有志（地域住民等）を中心に平成16年から活動を開始。まちなか探検などを含む「ぼうさい探検隊」を平成19年から毎年開催
- 「まちなか探検」では、児童が通学路近辺の防災設備や危険箇所を実際に歩いて確認し、防災マップを作成。その後、小学校教職員や地元消防団等を審査員にマップコンテストを実施。区内大学の学生もボランティアで参加
- 消防署や地元消防団と連携した放水体験や初期消火訓練、備蓄毛布や非常食を使用した小学校体育館での宿泊型避難所体験訓練も実施



まち歩き



消火体験



体育館避難所体験

久松町町会、富沢町町会、東京織物卸商業組合（中央区）

町会、企業などが連携して行う防災活動

【取組概要】

- 地域内に多数の繊維問屋街がある2つの町会と、東京織物卸商業組合が連携し、昭和52年以降、合同訓練を実施
- スタンドパイプの初期消火訓練や、三角巾やAEDを使った応急手当訓練などの各種訓練を実施。終了後は、参加団体の役員等が集まり、訓練の反省会を実施
- 組合加入企業の新入社員が合同訓練に参加することで、社員の防災力向上と、訓練の活性化が図られている



AED操作訓練



応急手当訓練



初期消火訓練

和田一丁目町会（杉並区）

民間救援避難所の設置と要支援者対策の更なる充実に向けた取組

【取組概要】

- 区立の震災救援所のほかに、町会が独自に各団体と覚書を締結することにより、2つの民間救援避難所を立ち上げ
- 3つの救援所において、毎年1回（合計3回）、救援所訓練を実施
- 「災害時要援護者対応マニュアル」を作成。訓練において検証し、内容の充実を図る
- 平常時から町会役員が各要援護者とコンタクトを取り、発災時には素早く安否確認を実施



避難所設営



中学生による搬送訓練



可搬ポンプを用いた訓練

泉南中学校震災救援所運営連絡会（杉並区）

次世代を担う中高生の育成を目的とする 発災対応型防災訓練の取組

【取組概要】

- 発災時に救援所の立ち上げ・管理・運営を迅速かつ円滑に行うため、救援所訓練を継続して実施。避難者受入れのほか、簡易トイレや発電機の設置等を訓練。地元中学生も参加
- 平成19年度に、救援所運営管理マニュアルを改訂。22年度には、簡易版も作成
- 災害救援経験のある地域住民の体験談などの講演や、DVDを使った研修会を年に数回開催



チェーンソー・発電機運転



炊き出し訓練



応急救護訓練

志茂町会自治会連合会（北区）

木造住宅密集地域での発災対応及び 学校等と連携した防災教育活動

【取組概要】

- 災害対策本部立ち上げ、初期消火、負傷者対応などの活動を併行して実施する発災対応型防災訓練を、全町会・自治会単位及び連合会で実施
- 全町会・自治会で区民消火隊を結成し、定期的な消火訓練を継続
- 地元小学校の「防災学校」では、連合会が準備会合や訓練当日に参加し、学校と連携した防災教育を実施
- 連合会会員を主な構成員とする志茂まちづくり協議会で各地区の防災マップを作成し、防災訓練で活用



放水訓練



起震車体験



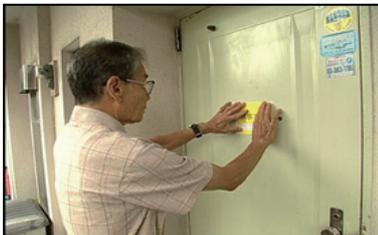
炊き出し訓練説明

第二峡田小学校避難所運営委員会（荒川区）

木造住宅密集地域における大震災時の安否確認や 避難所運営の迅速・円滑な取組

【取組概要】

- 発災時に自分たちで避難所を立ち上げ、運営するため、平成23年度より、運営委員会主催の避難所訓練を年1回実施
- 訓練では、各活動部門に分かれ初期消火や機材取扱訓練等を実施。平成25年度には女性部を設置し、運営に際して女性の視点を考慮
- 地域防災力向上モデル地区（24・25年度）として、「災害時安否確認シール」や「避難者カード」を作成。これらを活用した訓練を行い、使用方法の習熟や、効果的な運用方法の検証を実施



安否確認訓練



間仕切り設置



避難者カード集計

諏訪台中学校避難所運営委員会（荒川区）

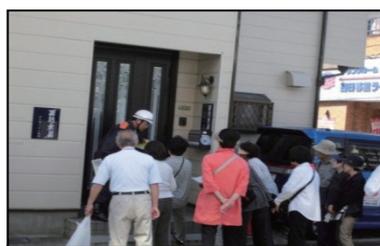
大震災時における安否確認や 避難所運営の迅速・円滑な取組

【取組概要】

- 平成23年度より、運営委員会主催の避難所訓練を年1回実施
- 訓練には中学生も参加し、安否確認や救出救護、仮設トイレの組立て、炊き出しなどを体験
- 26年度は、体育館の暗幕を使い、発災時の停電を想定した訓練を実施
- 区が配布した「避難者カード」や「災害時安否確認シール」を訓練で活用し、住民の理解度・習熟度の向上を図る



D級ポンプを用いた放水訓練



安否確認訓練



負傷者搬送

青井三丁目町会（足立区）

次世代の地域の担い手に ～10年以上続く命をつなぐ救命講習～

【取組概要】

- 防災区民組織を基盤として結成された区民レスキュー隊を中心に、平成15年から地域の中学校で生徒を対象に普通救命講習を実施。受講人数は580名に上る
- 講習を終えた中学生が地域の避難所運営訓練に参加するなど、地域ぐるみで顔が見える関係を構築
- レスキュー隊隊員に小型携帯無線機を配備し、台風接近時には、隊員が事前に地域巡回をして住民に注意喚起
- 近隣の町会・自治会と協力し、避難所運営訓練を継続して実施。毎年、重点を置くポイントを変えるなど、形を変えながら実施し、防災力向上を図る



救命講習



小型携帯無線機を配備



命の大切さについて考える機会作り

片倉台自治会自主防災隊（八王子市）

9か所の活動拠点を活用した初動対応及び 多様な団体と連携した防災訓練

【取組概要】

- 平成11年に自主防災組織を結成、以降継続的に活動
- 地域内に9か所の活動拠点を設定。拠点の責任者が住民の安否を確認し本部へ情報を集約する仕組みを構築
- 学校・消防・警察・赤十字奉仕団など、多様な団体と連携した防災訓練を毎年1回実施。平成25年は留学生も訓練参加
- 手上げ方式で要支援者・要配慮者の情報を収集。名簿作成のほか、安否確認用の2種類のカードを作成し配付



留学生も訓練に参加



避難訓練



安否カード

昭島市自治会連合会第15ブロック地域合同防災会議（昭島市）

地域内の多様な団体と連携した地域防災力強化の取組

【取組概要】

- 地域コミュニティや避難所の学校、各種団体と連携し活動を継続
- 平成24年から、地域合同防災訓練を行い、各自治会ごとの避難誘導、安否確認、避難所開設などの訓練を実施
- 消防署、消防団の指導を受け、各自治会において消火器やスタンドパイプの操作訓練を実施
- 年に1回、消防署や市役所、防災専門家などを招いて講演会を開催し、持続的な防災意識啓発を実施



消火器訓練



応急手当訓練



炊き出し訓練

北落合地区災害対策連絡協議会（多摩市）

地域コミュニティの力を土台にした 地域全体の防災力強化

【取組概要】

- 30年以上継続する「ふるさと夏祭り」などのイベントを通じて、地域の絆・連帯を強めている。東日本大震災を契機に、学校の避難所運営を住民の力で行うことなどを目的に平成23年に発足
- 避難所運営マニュアルの検討のほか、総合防災訓練の内容検討や住民周知、地域防災訓練等を実施
- 「地域運動会」でバケツリレーを競技に取り入れたり、「どんど焼き」で炊き出し訓練を行うなど、各行事で防災意識の高揚を図る



応急救護訓練



初期消火訓練



炊き出し訓練

五日市地区防災・安心地域委員会（あきる野市）

多様な団体との協働による地域防災力強化に向けた取組

【取組概要】

- 町内会・自治会、消防署、消防団、赤十字奉仕団、学校、社会福祉協議会等、多様な団体との連携による防災訓練等を実施
- 「安否確認旗」の各戸配布のほか、各世帯の安否確認票を作成し、安否確認訓練を実施
- 住民の防災意識向上のためD I G（災害図上訓練）を実施し、地区内の危険性の再確認や、安否確認のシミュレーションを実施
- 避難所管理運営マニュアルを作成し、施設運営訓練を実施
- 孤立を想定した定期的な無線通信訓練を実施



災害時要援護者避難訓練



通報訓練



搬送訓練

部門Ⅲ 企業間の連携

区市町村名	団体名	取組内容
立川市	立川南口商店街振興組合	立川駅南口周辺における防災訓練・帰宅困難者への取組

立川南口商店街振興組合（立川市）

立川駅南口周辺における防災訓練・帰宅困難者への取組

【取組概要】

- 東日本大震災を契機に、発災時に一時的に帰宅困難者を受入れる「朝までいられまステーション」を立ち上げ。帰宅困難者が店先や店舗の中で一晩過ごせるようスペースを提供
- 消防・警察・市・自治会などが参加する防災訓練を年1回実施。「子育てママの防災」など、内容も工夫
- 来街者が安心して買い物等ができるよう、地震対応マニュアルを作成。商店街のイベント等で配布



防災フェア



防災フェア案内所



起震車体験

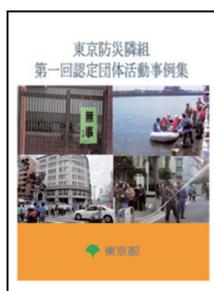
※「災害時要援護者」の呼称について

平成25年の災害対策基本法の一部改正により、防災施策において特に配慮を要する方は「要配慮者」、そのうち、災害発生時の避難等に特に支援を要する方は「避難行動要支援者」と定義されました。

本冊子で紹介する活動内容には、団体が法改正前から継続して取り組んできたものなども含まれているため、一部で「災害時要援護者」または「要援護者」という呼称も使用しています。

東京防災隣組認定団体活動事例集 バックナンバーのご案内

東京防災隣組第一回認定団体活動事例集



第一回認定団体の36団体の活動を紹介しています。
きめ細やかな安否確認や、地域特性を踏まえた訓練、地域
イベントを活用した防災の啓発など、
様々な取組を紹介しています。

(平成24年4月発行)

東京防災隣組第二回認定団体活動事例集

第二回認定団体の64団体の活動を紹介しています。
木密地域や大規模集合住宅での防災対策や、
若い世代の参加を促す取組、病院や福祉施設との連携など、
幅広い活動を紹介しています。

(平成25年4月発行)



東京防災隣組第三回認定団体活動事例集



第三回認定団体の43団体の活動を紹介しています。
地域の町会が合同で行う大規模な防災訓練や、住民同士の
「顔の見える関係」を重視した組織づくりなど、様々な活
動を紹介しています。

(平成26年4月発行)

★こちらのHPで是非ご覧ください★

<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/tonarigumi/>

東京防災隣組

検索 



登録番号 (26) 150号

平成27年4月 発行 東京防災隣組第四回認定団体活動事例集

編集・発行 東京都総務局総合防災部防災管理課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03 (5388) 2549

印刷所 敷島印刷株式会社
熊本県宇城市松橋町豊崎1959番地
電話 0964 (32) 7272

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

R70
古紙/REP配合率70%再生紙を使用しています

